

- 問1 七百十年に平城京へ都が移ってから七百九十四年に平安京へ都が移るまでの期間、当時の天皇が「鎮護国家の思想」に基づいて実施した政策として、正しいものはどれですか。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 国ごとに国分寺・国分尼寺を建立させ、都に大仏を造立した
 2. 全国各地に神社を建て、天照大神を祀ることで国家の統一をはかった
 3. 貴族の権力争いを防ぐため、武士を登用して警備を強化した
 4. キリスト教の布教を禁止し、寺請制度によって民衆を寺院に登録させた
- 問2 奈良時代の文化的な特色を示す事例として、正倉院に収蔵されている「瑠璃坏(るりのつき)」と呼ばれるガラス製の器があります。このような宝物が現代にまで残されていることは、当時の文化のどのような側面を象徴しているか、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 浄土信仰の広まりにより、平等院鳳凰堂に代表されるような極楽浄土を夢見る貴族的な側面
 2. かな文字の成立に代表されるように、日本の風土や日本人の感情に合わせた国風の側面
 3. 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面
 4. 地方の豪族が独自に大陸と交易を行い、それぞれの地域で仏教文化を独自に発展させた側面
- 問3 奈良時代、聖武天皇は全国に国分寺・国分尼寺を建立し、東大寺に大仏を造立しました。このように、仏教の力によって疫病や災害などの社会不安から国家を安定させようとした当時の根本的な思想を何といいますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 国風文化の思想
 2. 鎮護国家の思想
 3. 浄土信仰の教え
 4. 本地垂迹説
- 問4 奈良時代の都について書かれた発表メモの中に、「中国の影響を受けた国づくりが進められる中で、都に大仏が建立された」という記述があります。この大仏が建立された東大寺が位置する都の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 日本で初めて、周囲を城壁で囲った本格的な中国式の都として造られた。
 2. 当時の天皇が、軍事的な拠点とするために大阪の湾岸部に設置した。
 3. 貴族の権力争いを避けるために、現在の京都市に新しく建設された。
 4. 唐の都である長安を模してつくられ、国際色豊かな文化が栄えた。
- 問5 8世紀に編纂された「風土記」の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれか選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 中央政府が地方の実態を把握するため、国ごとに郷土の地理や地名の由来、伝承などをまとめた。
 2. 仏教による国家の安定を願って、全国に建立された国分寺や国分尼寺の由来を詳しく記した。
 3. 天皇による統治の正当性を示すため、神話から続く国家の成り立ちを年代順に記録した。
 4. 租・庸・調などの税を確実に徴収するため、農民の戸籍や口分田の面積を地方ごとに記録した。
- 問6 律令制度における租税の一つである「調」について、その内容と民衆への負担の仕組みを正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 男子に対して、都での年間10日間の労役の代わりに、布を納めさせる制度であった。
 2. 成人男子の中から選ばれ、九州北部の警備のために3年間の兵役に就く義務のことである。
 3. 各地方の特産物を都まで運ぶ必要があり、その道中の食料や運搬の労力は民衆が自ら負担した。
 4. 収穫した米の約3%を納めるもので、主に地方政府(国衙)の財源として蓄えられた。
- 問7 律令制度における「国司」と「郡司」の性質の違いについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 国司は武力を持つ武士の中から幕府によって任命される役職であり、郡司は天皇の近親者が都から派遣される役職であった。
 2. 国司は年貢を徴収するために現地で雇われた農民の代表であり、郡司はそれらを監督するために中央から派遣された役人であった。
 3. 国司は土地の完全な所有権を持つ豪族が就く役職であり、郡司は中央から視察のために一時的に送り込まれる役人であった。
 4. 国司は一定の任期ごとに都から派遣される官吏であり、郡司は代々その土地を治めてきた有力豪族が任命される役職であった。
- 問8 奈良時代には、天皇を中心とする律令国家の体制を整えるため、国家の成り立ちや正当性を示す歴史書の編纂が行われました。この時期にまとめられた、日本最古の歴史書とされる書物と、中国の歴史書の形式にならって編纂された正史の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 古事記・日本書紀
 2. 日本書紀・解体新書
 3. 風土記・日本書紀
 4. 古今和歌集・万葉集
- 問9 奈良時代の中頃、疫病の流行や政治的な混乱などの社会不安を背景に、仏教の力で国を守ろうとする考え方が強まりました。都である平城京に総国分寺として東大寺を建立し、全国に国分寺・国分尼寺を建てるよう命じた天皇は誰ですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 聖徳太子
 2. 天武天皇
 3. 聖武天皇
 4. 桓武天皇
- 問10 律令制のもとで、中央政府から地方の国々に派遣され、徴税や裁判などの行政を担った官職を何といいますか。地元の有力豪族が任命された郡司を指揮・監督した立場を指す名称として正しいものを、次のなかから選びなさい。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 地頭
 2. 県令
 3. 国司
 4. 守護
- 問11 古代の税制に関する学習資料において、農民の負担についてまとめた以下の文の空欄にあてはまる内容として、正しいものはどれですか。「農民にとって、特産品や布を納めること自体も大変でしたが、さらにそれらの品物を()ことが大きな負担となっていました。」 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 決められた期日までにすべて自分で収穫する
 2. 自ら都まで運ぶ
 3. 役人の目の前で規格通りに作り直す
 4. 他人の分も代行して生産する
- 問12 「墾田永年私財法」が日本の土地制度に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 農民が口分田を勝手に売買することが全面的に解禁され、班田収授法がより円滑に運用されるようになった。
 2. 自ら新しく開墾した土地について、期限を設けず永久に個人の私有地とすることが認められた。
 3. 開墾した本人の孫の代までの三世代に限り、土地の私有が認められるようになった。
 4. 土地と人民はすべて国家のものであるという公地公民の原則が、この法令によって初めて確立された。
- 問13 奈良時代の税制度について、平城宮跡から出土した「塩三斗」や「海藻六斤」といった記述がある木簡(荷札)が証明している税の仕組みとして、正しい説明はどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 都での労役の代わりとして、麻布などを都へ運んで納める仕組み。
 2. 口分田の面積に応じて、収穫した稲の約3%を地方の役所に納める仕組み。
 3. 地方の国府において、年間60日を限度として土木工事などの労働に従事する仕組み。
 4. 地方の特産品を都まで運び、中央政府の財源として納める仕組み。